

# 京極読書新聞 <第109号>

発行日 令和2年12月23日(水)  
京極町生涯学習センター湧学館



## 京中生にインタビュー



令和元年度京極町読書感想文コンクールで入選した中学生に  
読んだ本のことや学校生活についてなどをお聞きしました。  
今の中学生はどんな本を読んでいるのでしょうか？  
(書面でインタビューに答えていただきました)

佐藤萌さん  
(3年)



山岡夢乃さん  
(3年)



太島彩綺さん  
(2年)



半田若葉さん  
(3年)





## 佐藤 萌さん(3年) 「犬と私の10の約束」



- ▶ 同じ本で数年後に感想文を書くのは珍しいなと思いました。前回の感想文と考え方・感じ方が変わったところを教えてください。

**佐藤) お母さんがソックスを買ってくれたことの意味のとらえ方が変わりました。**

- ▶ 主人公の「あかり」について、佐藤さんがすごいなと思ったところと、その理由を教えてください。

**佐藤) 小さいころからほぼ、一人暮らしみたいに生活をしていたことです。私は一人が怖いのですごいと思いました。**

- ▶ 感想文に「動物には不思議な力があるのかなと思います」とありました。佐藤さんが本を読んで感じた不思議な力とはどんな力ですか？

**佐藤) シャベれないけど、人の気持ちに寄り添ってそばにいてくれるからです。**

- ▶ 犬を飼っていないとのことでしたが、他に飼っているペットはいますか？いない場合、飼ってみたい動物はいますか？（私は文鳥やインコが気に入っています）

**佐藤) カメを飼ってずっとながめてみたいです。**

- ▶ 最近読んだ本、観た映画やドラマで、気になる作品やおすすめの作品はありますか？

**佐藤) 「浅田家」です。実話の映画化で浅田さんの人生に感動しました。**

- ▶ 中学校生活で楽しんでいること、楽しかった思い出、打ち込んでいることなど教えてください。

**佐藤) 昼休みに友達とバスケをするのが楽しいです。**

- ▶ インタビュー（質問）に答えていただき、ありがとうございました！



「犬と私の10の約束」  
川口 晴／作  
(文藝春秋, 2007)

知ってますか？犬のホントの気持ち……。 「たくさん話をして下さい」「年を取っても見捨てないで犬を飼うなら守って、と亡くなったお母さんに教えられた、犬との10の約束。



## 山岡 夢乃さん(3年)

### 「君たちはどう生きるか」



- ▶ 山岡さんの自室に昔からあった本とありましたが、ご両親も読まれた本ですか？  
ご家族でお互いの感想を話し合うのもステキですね。

**山岡) 祖父が読んでプレゼントしてくれました。**

- ▶ 主人公ではない浦川君が一番好き、とありましたが、彼のどんなところが好きでしたか？また、主人公であるコペル君に共感するところはありませんでしたか？

**山岡) 周りの環境に負けず頑張っているからです。怖がりなところは共感します。**

- ▶ 「コペル君と叔父さんは仲間です」とありました。山岡さんにとっては、どんな仲間が理想でしょう？

**山岡) 立場の違いがあっても本気で向き合える仲間です。**

- ▶ 定期的にこの本を読むそうですが、どんな時に読み返しますか？

**山岡) いろいろな事を深く考えたいときです。**

- ▶ 最近読んだ本、観た映画やドラマで、気になる作品やおすすめの作品はありますか？

**山岡) MIU404です。**

- ▶ 中学校生活で楽しんでいること、楽しかった思い出、打ち込んでいることなど教えてください。

**山岡) 修学旅行です。**

- ▶ インタビュー（質問）に答えていただき、ありがとうございました！



「君たちはどう生きるか」  
吉野 源三郎／著  
(マガジンハウス, 2017)

人間としてあるべき姿を求め続けるコペル君とおじさんの物語。出版後80年経った今も輝き続ける歴史的名著。



## 太島 彩綺さん(2年) 「作り直し屋」



▶なぜこの本を選んだのですか？

太島) お姉ちゃんのミアちゃんと弟のクトくんのお互いを大切にする心や相手が大好きだということがとても素敵だと思ったからです。魔法使いとの物々交換に憧れたからです。そして神様からのプレゼントが素敵だと感じたからです。

▶今、いらぬもの、捨てたいものはありますか？そしてそれはなぜですか？

太島) 特にありません。

▶ツルさんと物々交換するとしたら、何が何に変わるでしょうか？または変えてもらいたいですか？

太島) ルームミストをルームミストの香りがする‘ぬいぐるみ’に変えてもらいたいです。近づいたり触れる度、とっても良い香りがするぬいぐるみです。

▶作者は何を言いたかったのでしょうか？

太島) 神様からのすてきなプレゼントはそう簡単にはもらえないけど素敵な事をしてからのプレゼントはしたことと同じくらいすてきなものだということです。

▶最近読んだ本、観た映画やドラマで、気になる作品やおすすめの作品はありますか？

太島) 特にありません。

▶中学校生活で楽しんでいること、楽しかった思い出、打ち込んでいることなど教えてください。

太島) 10月にあった文化祭は私も実行委員会として楽しんでもらえる様にいろいろ頑張りました。このご時世の中でどう楽しんだらよいか皆で案を出し合って何度も試しました。文化祭を成功させるために「挑戦」した事も沢山あります。とても楽しい文化祭になりました。

▶インタビュー（質問）に答えていただき、ありがとうございました！



「作り直し屋」  
廣島 玲子／著  
(静山社, 2019)

捨てるに捨てられない、いただきもののお皿、もう開くことはないドアの鍵。いらぬもの、捨てたいもの、捨てられないもの、魔法で生まれ変わらせてみませんか？おばあさん魔法使い・ツルさんの物語。



## 半田 若葉さん(3年)

### 「アオハル・ポイント」



▶「本を読んで納得したところ」で主人公がクラスメイトに素を見せず、キャラを演じているところ、とありました。それはどうしてですか？

半田) 誰でも多少は隠していることがあったり周りに合わせることもあると思うし自分自身、すべてを見せてるわけではないので納得しました。

▶もし自分のポイントを見ることができたら、どんなところにプラスの点数がついていると思いますか？

半田) 言われた事はやることです。逆に言われないと何もしません(笑)。

▶主人公のように他の人のポイントが見えたら、ポイントを上げたい人に協力しますか？

半田) その人がポイントが見える事を信じてくれたら協力すると思います。

▶半田さんが共感した「人間には目には見えないポイントがある」「ポイントにならないことを大事にして生きていきたい」という考え方、私もすごく大切だなと思いました。この部分を読んで思ったこと、考えたことを教えてください。

半田) 自分が気づいていないだけで勝手に人にポイントをつけてるんだなと読んで気づかされました。周りからの相手の評価に左右されずに人と向き合っていきたいなと思いました。

▶最近読んだ本、観た映画やドラマで、気になる作品やおすすめの作品はありますか？

半田) 私が好きな‘住野よる’さんの「また同じ夢を見ていた」がお勧めです。読んで感動しました。読み進めていくと色々なところが繋がって面白かったです。

▶中学校生活で楽しんでいること、楽しかった思い出、打ち込んでいることなど教えてください。

半田) 修学旅行が楽しかったです。感染症のため道内になりましたがそれはそれで楽しかったし良い思い出になりました。

▶インタビュー(質問)に答えていただき、ありがとうございました！



「アオハル・ポイント」  
佐野 徹夜/著  
(KADOKAWA, 2018)

人の頭上に浮かぶ数字。そんなポイントが、俺にはなぜか見え続けていた。例えば、クラスで浮いてる春日唯のポイントは42。かなり低い。空気が読めず、友達もいない。そんな春日のポイントを上げるために、俺は彼女と関わることになり――。



## 「山吹」をめぐる(2)

『平家物語』を読む会 村山 功一

### 「トモエ」と「ヤマブキ」

ところで、これまでごく自然に二人の名前を「巴」「山吹」と書いてきましたが、諸伝本によって異なる表記があります。古典『平家』には多数の伝本があり、それらは微妙に内容、表現、表記に違いがありますが、それは人名についても同様なのです。「トモエ」「ヤマブキ」と発音する二人の名は、諸本により次のように書かれます。

「トモエ」→巴、鞆、鞆絵、鞆画、伴絵、鱸絵、ともゑ、ともへ、ともえ

「ヤマブキ」→山吹、款冬、やまぶき

一人の人物の名前にこれだけの表記が可能なのは、本人が自身の名前をどう書いたか分からないからなのでしょう。諸伝本の執筆者たちは、それぞれが「トモエ」「ヤマブキ」という発音から想起される文字で表したのだらうと思います。

「トモエ」の漢字表記は発音に対する宛て字です。平仮名書きには仮名遣いの“揺れ”が見受けられます。一方、「ヤマブキ」は宛て字ではなく、それぞれ別の植物名です。山吹は春に黄色い花を付けるバラ科落葉低木、款冬はふき露の別名です。どちらの「ヤマブキ」にするかは、執筆者の好みわづらの問題かも知れません。

ともあれ、煩わしいのでこれから先、引用以外の二人の名前は「巴」「山吹」の表記に統一します。

### 『平家』諸本に見る「巴」と「山吹」

ここで、巴と山吹の扱いが諸本間でどのようになっているかを比較してみます。比較には、現在私の手元にある次の本によりました。

- ◆注釈書(語注、口語訳、解説などを施した本)ほどこ
- A 日本古典文学大系33『平家物語』高木市之助他校注/岩波書店(底本は「覚一本」)
  - B 『平家物語全注釈』富倉徳次郎/角川書店(底本は「葉子十行本」米沢図書館蔵本)
  - C 『平家物語評講』佐々木八郎/明治書院(底本は「覚一別本」他)
  - D 鑑賞日本の古典11『平家物語』梶原正昭/尚学図書(底本は国立国会図書館蔵「波多野流墨譜本」)
  - E 『平家物語』佐藤謙三校注/角川文庫(底本は寛文十二年版「流布本」)
  - F 『平家物語全訳注』杉本圭三郎/講談社学術文庫(底本は「覚一別本」)
  - G 『平家物語』高橋貞一校注/講談社文庫(底本は元和九年版「流布本」)
  - H 『源平闘諍録』福田豊彦・服部幸造全注釈/講談社学術文庫(底本は「内閣文庫蔵本」)
- ◆本文(翻刻)\*7
- I 『延慶本平家物語』北原保雄・小川栄一編/勉誠社(底本は大東急記念文庫蔵本)
- ◆本文(影印)\*8
- J 『百二十句本平家物語』斯道文庫編(慶應義塾大学附属研究所蔵)
  - K 復刻日本古典文学館『文禄本平家物語』市古貞次・山下宏明・久保田淳解題/ほるぷ出版(東京教育大学蔵)



7ページの比較表が示すとおり、山吹については 殆ど<sup>ほとんど</sup>何もわかりません。  
一方、巴は諸本間に異同はあるものの、本文中に出自\*<sup>9</sup>や生い立ちなどが述べられており、活動の場面も描かれています。

それは、『平家』に関する事典類、解説書、研究書でも同様で、山吹の記事を欠くか、あってもきわめて簡単な説明に留まりますが、巴は『平家』関連の書物には、必ずといっていいほど採り上げられています。おそらく、“巴”・“巴御前\*<sup>10</sup> (『平家』にこの呼び名はない)”という名を知らない人はいないのではないかと、思うほどの超有名人なのです。ところが、殆ど何も分からない山吹はともかく、超有名人の巴についても“実在”の確証が<sup>あつまかがみ</sup>ありません。同時代の貴族の日記や各種記録類、鎌倉幕府の準公式歴史書『吾妻鑑』にも、全く記録されていないからです。『平家』以外では能や謡曲、「おとぎ草紙」など。そして伝説・伝承があるだけです。(以下次号)

【注】\*7 写本・刊本などの字句を、そのまま活字に組んだ本。

\*8 古写本などの紙面を写真にとり、それを製本印刷した本。

\*9 その人の生まれ。出どころ。

\*10「御前」は本来貴人に対する尊称であるが、身分の低い女性の呼び名でもあった可能性を説く研究者もいる。例えば

• 静御前...義経の恋人。白拍子(一種の芸人)<sup>しらびょうし</sup>

• 常葉御前...義経の母。雑仕女<sup>そうしめ</sup>

• 山吹御前、巴御前...便女<sup>びんじょ</sup>

たしかに、当時の下層に属する身分である。

## 発行

京極町生涯学習センター湧学館  
〒044-0101 京極町字京極158番地1  
TEL 0136-42-2700(代表)  
FAX 0136-42-2032  
E-Mail yugakukan@town-kyogoku.jp



ホームページもご覧ください  
<http://lib-kyogoku.jp>

